



# 研究部通信

2021/7/6 文責 勝部



## ～塚本学級 提案授業本当にお疲れさまでした～

7月5日2校時、3年1組、塚本先生の学級で提案授業がありました(国語科、説明文「こまを楽しむ」)。今日の塚本先生の提案授業をベースに今後の研究にいかしていきましょう。

今年度は研修計画最終年、まとめの年になります。昨年度行ってきた研修を土台に「主体的に学びに向かう子ども」の育成のために全校で進んでいければと思います。

事後研で話し合われた内容を簡単にお知らせします。

### 授業者より

- ・学習過程の「つかむ」場面では予想通り、「考える」のところでは失速してしまった。
- ・二つめの文を考えると意見が出なくてあせってしまった。
- ・発問が児童とマッチしていなかった。
- ・文の中の言葉を根拠にして書くことは今後もトレーニングが必要。
- ・クイズの部分で集中力が保てていたが「A」という児童の声で引っ張られて誤答が多かった。
- ・まとめを自分の言葉で書くことができた。今後も継続していきたい。

### 成果

- ・「はじめ」「おわり」の比較がシンプルで取り組みやすかった。
- ・コマの絵の視覚的支援が行われていた。また、ワークシート、3文に分けることで低位の児童にもわかりやすかった。
- ・クイズ形式で子ども達の意欲が高まっていた。
- ・学習用語をおさえていた。音読の声がよかった。
- ・「軸」「バランス」の言葉をしっかりとおさえていた。

### 課題

- ・まとめを書いた後の子ども達の交流場面ではお互いのプリントを見せ合うだけの子ども多く見られたので、目的意識を明確にして交流するとよい。自分のまとめとの違いなどの気づきを書き込むとさらによい。
- ・「同じ言葉があるからいらないのでは？」と投げかけることで、まとめが大切なことにさらに、気づかせるとよい。
- ・「何ページの何行目にあるよ。」と伝えるとさらに取り組みやすい。
- ・「違うところ」「文末」という言葉で焦点化させて「のです」をじっくり考えさせるとよい。

### 指導主事の先生から

- ・単元の導入で「ゴールイメージ」「プロセスイメージ」をもたせることが大切。今日の授業ではしっかりとなされていた。「ゴールイメージ」で教師のモデルを示す「プロセスイメージ」で学習計画を共有する
- ・交流の目的や必要性を自覚しているかが大切。
- ・系統表がしっかりとされているので、活用していくとよい。

### 校長先生から

- ・子どものやる気をつぶさないためにしっかりと声掛けをし、評価している。
- ・普段の学習規律が定着している。
- ・ゆさぶり発問によって深まった。

## ～本時の板書～



## ～先生方から～

視覚的にもとらえやすい授業で低位の子にもわかりやすく意欲的になれると実感しました。「はじめ」「おわり」のワークシートに丸をつけることでつながりに気づき、文章全体の構成の理解につながっていた。

～感想カードから抜粋～

ワークシート、拡大図、TVも使い、低位の子もあきることなく授業に取り組めたのではないのでしょうか。準備大変だったと思います。

～感想カードから～

テンポよく短いフレーズで発問、声かけをしていたことがよかった。文章を丁寧に読み取らせ、段落相互の関係を理解させていた。

姿勢もよく学習条規が身につけている。

～感想カードから抜粋～



先生方、お忙しいところたくさんの参観、付箋でのご意見、感想カードの提出をありがとうございました。